

# 遺言書

遺言者

## 1. 前文

私 \_\_\_\_\_、所在地

\_\_\_\_\_にて、健全な精神状態にあり、法定年齢に達し、強要もしくは不当な圧力の下に曝されておらず、すべての所有物の性質および範囲を十分に理解しこの文書を作成、発行、宣言し、私の遺言とする。これまで私が共同もしくは連帯して作成したその他すべての遺言、遺言補足書を本契約書によって無効とする。

## 2. 遺言執行者の選任

2.1. 私はここに、\_\_\_\_\_をこの遺言書の遺言執行人として指定し、選任する。本執行人が執行不可能もしくは執行する意思がない場合、\_\_\_\_\_を代理執行人として選任する。

2.2. 私は遺言執行人に法律に基づき必要、もしくは許可されたすべての権限、依頼した事柄全てに関し委任する。

2.3. 遺言執行人は担保を立てる義務を負わず、保証人を立てずに従事するものとする。

2.4. 私の死亡時に遺産の分配を保留している間、遺言執行人は生前私が関心を持っていたあらゆる事業、投機、共同経営会社を遂行する権限を持つものとする。

2.5. 遺言執行人は私のあらゆる資産の保証、修繕、改善もしくは、公売または相対売買において売却する裁量権を持つ。その裁量は私の保有資産の受益者の最善の利益のためという取引条件のもとになされる。

2.6. 遺言執行人は私の財産の清算と管理に関連するあらゆる目的のためにお金を借用する権限を持つものとし、その目的のために財産、資産のいずれかを圧迫することがある。

2.7. 遺言執行人は、本遺言証を遂行する当たり必要と判断した場合、弁護士、会計士および他の顧問を手配する権限を持つ。そのサービスに対する正当な報酬を私の財産から支払うものとする。

## 3. 負債および費用

私の終末期に関する費用、葬儀、追悼および埋葬費用、財産の管理費用、すべての財産、相続税および検認を受けた私財に対する類似税、遺言譲渡財産における利子、および/または罰金は受益者からの分配または払い戻しの権利なしに\_\_\_\_\_の州法に従って、私の財産から払い出されるものとする。

## **4. BEQUESTS**

4.1. 私は下記の者が私の死後30日間生存した場合、下記の財産を遺贈する:

氏名: \_\_\_\_\_  
続柄: \_\_\_\_\_  
住所: \_\_\_\_\_  
財産: \_\_\_\_\_

4.2. 私の死亡時に、上記4.1に記載されている財産のいずれかが、もはや私の所有物でも私の財産の一部でもなくなっている場合、その財産の遺贈は無効とみなされ、この遺言書の一部ではないものとする。

4.3. 上記4.1に名前が挙げられている人物が、私の死後30日間生存しなかった場合、遺贈された財産は残財産に移行するものとする。

4.4. 上述のいずれかの財産の受益者が責任を負うことを望まない債務に関しては、そのような財産は残財産に戻すとする。

## **5. 残余所有財産と残余財産**

残余所有財産もしくは残余財産のいずれかが直ちに売却・譲渡できない場合、遺言執行人が選んだあらゆる慈善団体に寄付することができるものとする。財産を容易に売却または寄付することができない場合、遺言執行人は、責任を負うことなく、遺言執行人が適切とみなした方法により財産を処分することができる。私は、そのような財産の売却、広告、梱包、配送、保険、配達のための費用を遺産の管理費として支払うことを遺言執行人に許可する。

## 6. 特別措置

私の死後、亡骸は\_\_\_\_\_にて〔埋葬/火葬〕するよう指示する。すべての葬儀/火葬費用は私の財産から支払われるものとする。

## 7. 一般事項

6.1. 単一の性を示す言葉は、他の性も含み、単数形の単語は複数形も含めるものとし、必要に応じて逆もまた同様のものとして扱う。

6.2. 本遺書の条項が適切な裁判所によって無効と判断された場合も、その他の条項には一切影響を与えないものとする。

署名は下記に署名された証人のもと、日付\_\_\_\_\_、  
所在地\_\_\_\_\_にて行われた。

署名: \_\_\_\_\_

### 証人

証人として、私たちは、健全な精神状態にあり、意思を証するに値する法定年齢に達し、私たちの知る限りこの遺言書の作成者\_\_\_\_\_は遺言書を作成するに当たり、法定年齢に達しており、健全な精神状態にあり意欲的で不当な影響や強迫下ではなく、自由意志で署名したと宣言します。そしてこれには、私たちは彼/彼女が私たちの存在下で、彼/彼女がこの遺書に証人の存在下で、そして互いの証人者の存在下で証人としてここに署名したことを宣言する。

偽証罪によって罰せられるという条件下において我々は日付\_\_\_\_\_、  
所在地\_\_\_\_\_において、この記述が真実であることを宣言する。

### 証人1

氏名: \_\_\_\_\_

住所: \_\_\_\_\_

署名: \_\_\_\_\_

### 証人2

氏名: \_\_\_\_\_

住所: \_\_\_\_\_

署名: \_\_\_\_\_